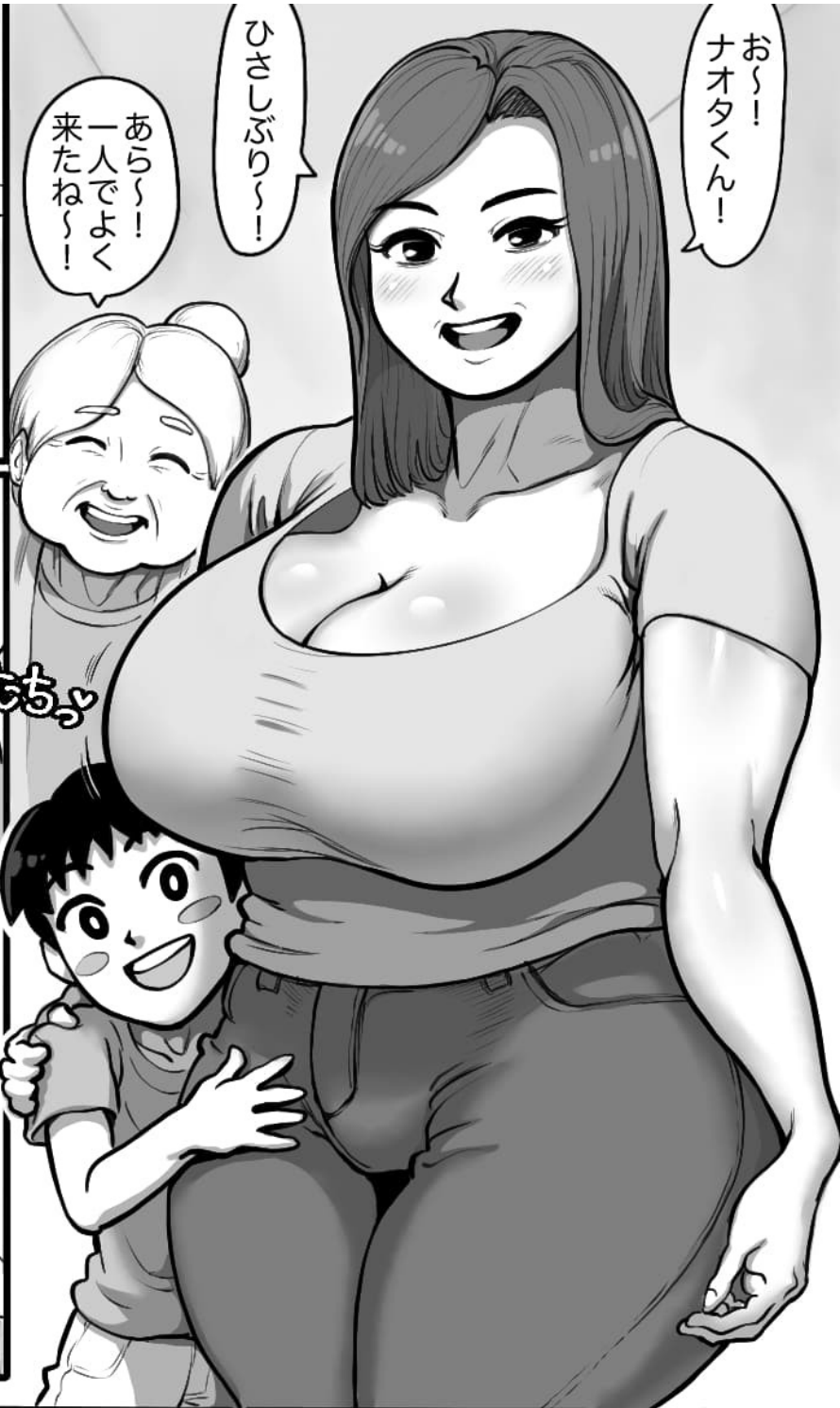


親戚の子と交尾する
爆乳叔母



あざみ井



夏休み
ボクは毎年田舎の
おばあちゃん家に
二週間ほど
泊まりに来る



今回はボクのお母さんが
用事で来れないってことで
そもそもナシになる
予定だったんだけど……



「ボク一人でも良いから
おばあちゃん家行きたい！」
って駄々こねて
無理やりお願いして……

なんとか今年も
遊びに来ることが
できたんだ！

フク フク



お母さんがいないのは
寂しいけど……
田舎の空気は美味しいし
自然もいっぱい最高！

それに
お母さんの妹の
涼子おばさんと……

ママー
だっこしてー♡

その息子の
サトルくんも
遊びに来てるから……
ホントに楽しいんだ



もーサトルは
甘えんぼさん
だねえ

どこ
触ってんじゃ！

あっ!?
こら！
サトル！

プン

ギヤハハハ!!



ババアが
おこった
ー!!

誰が
ババアだ!!

ホイ

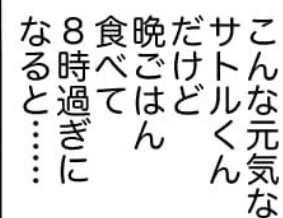
ホイ

……!!

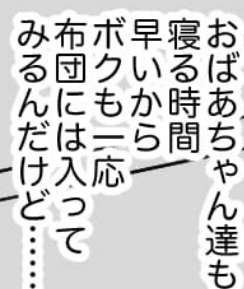
やっぱり……
おばさんの胸……
すごい……

はあ……
はあ……





まるで電池が切れたかのように眠っちゃうんだ

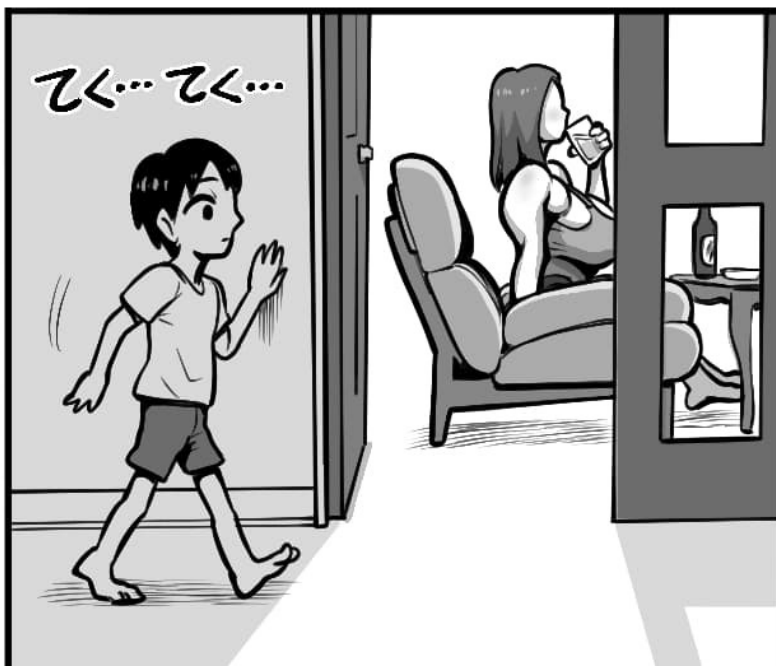


8時なんて
まだ全然
眠くないし……

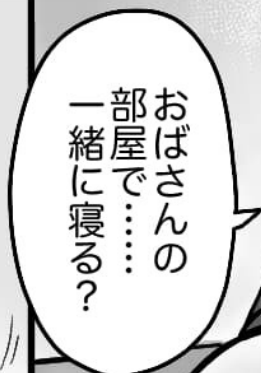
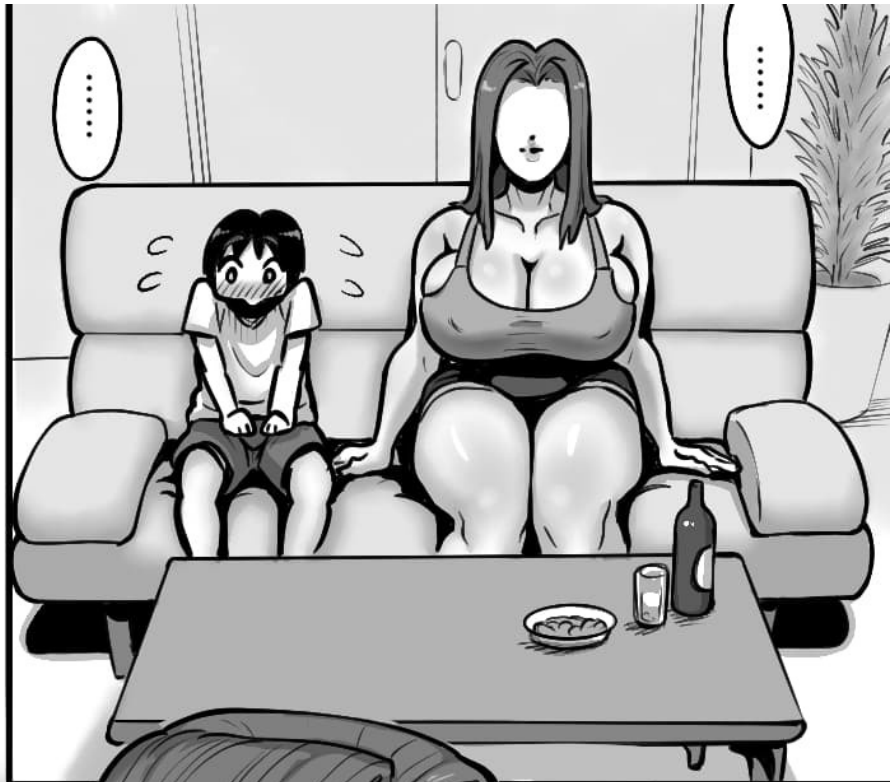
zzz...

リビング
いこ……

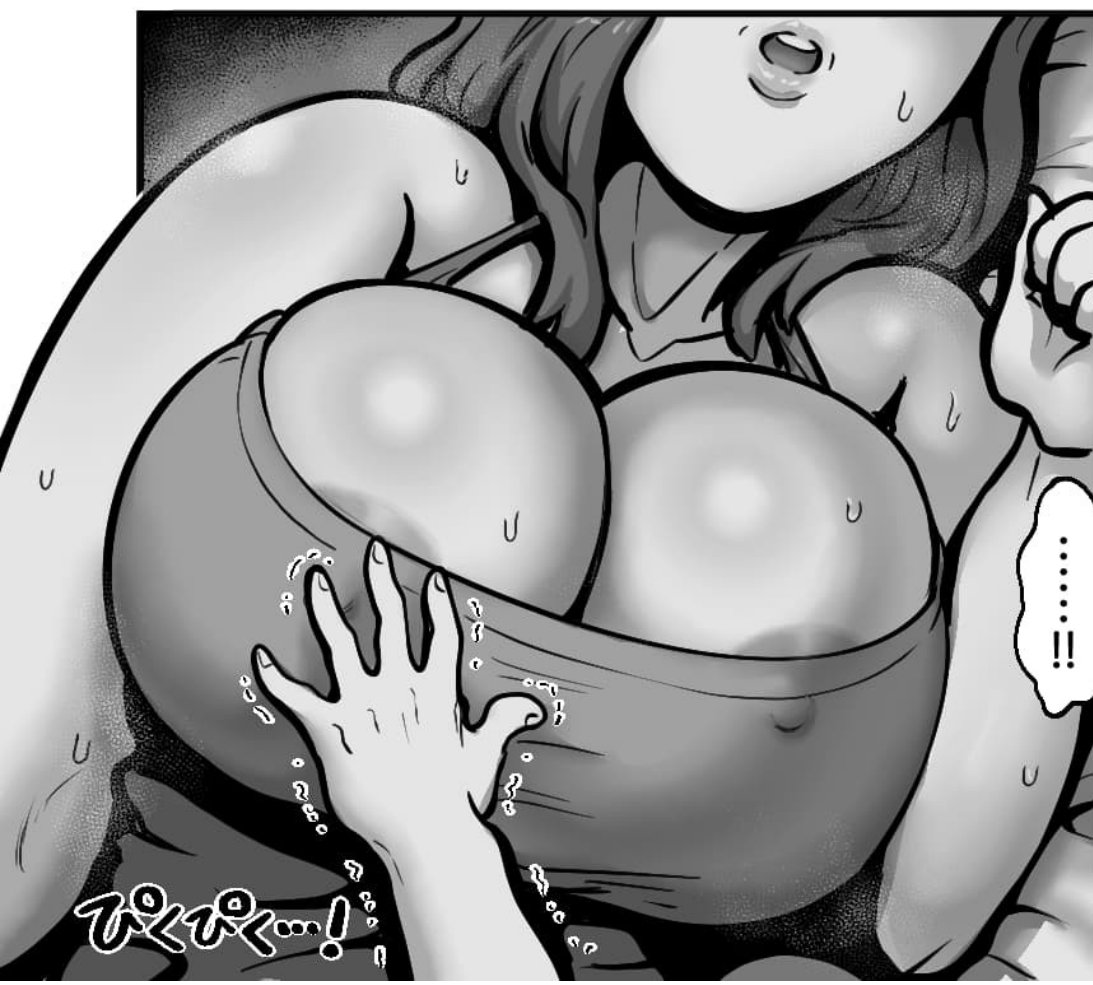
१२"

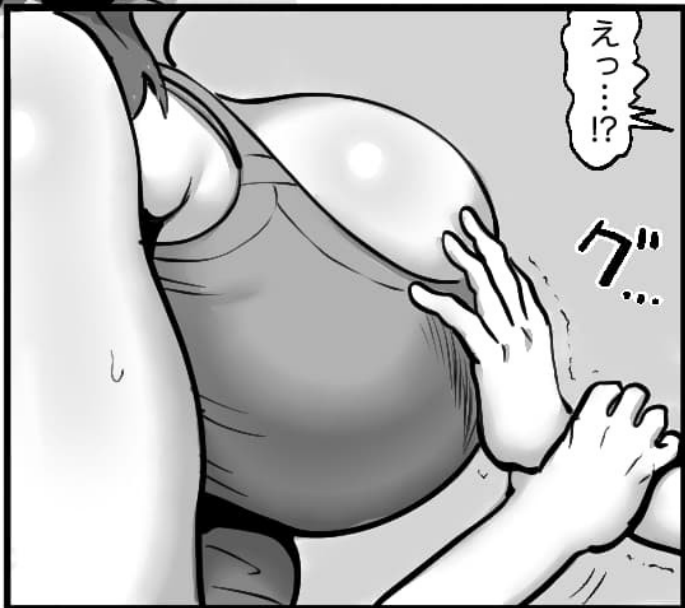






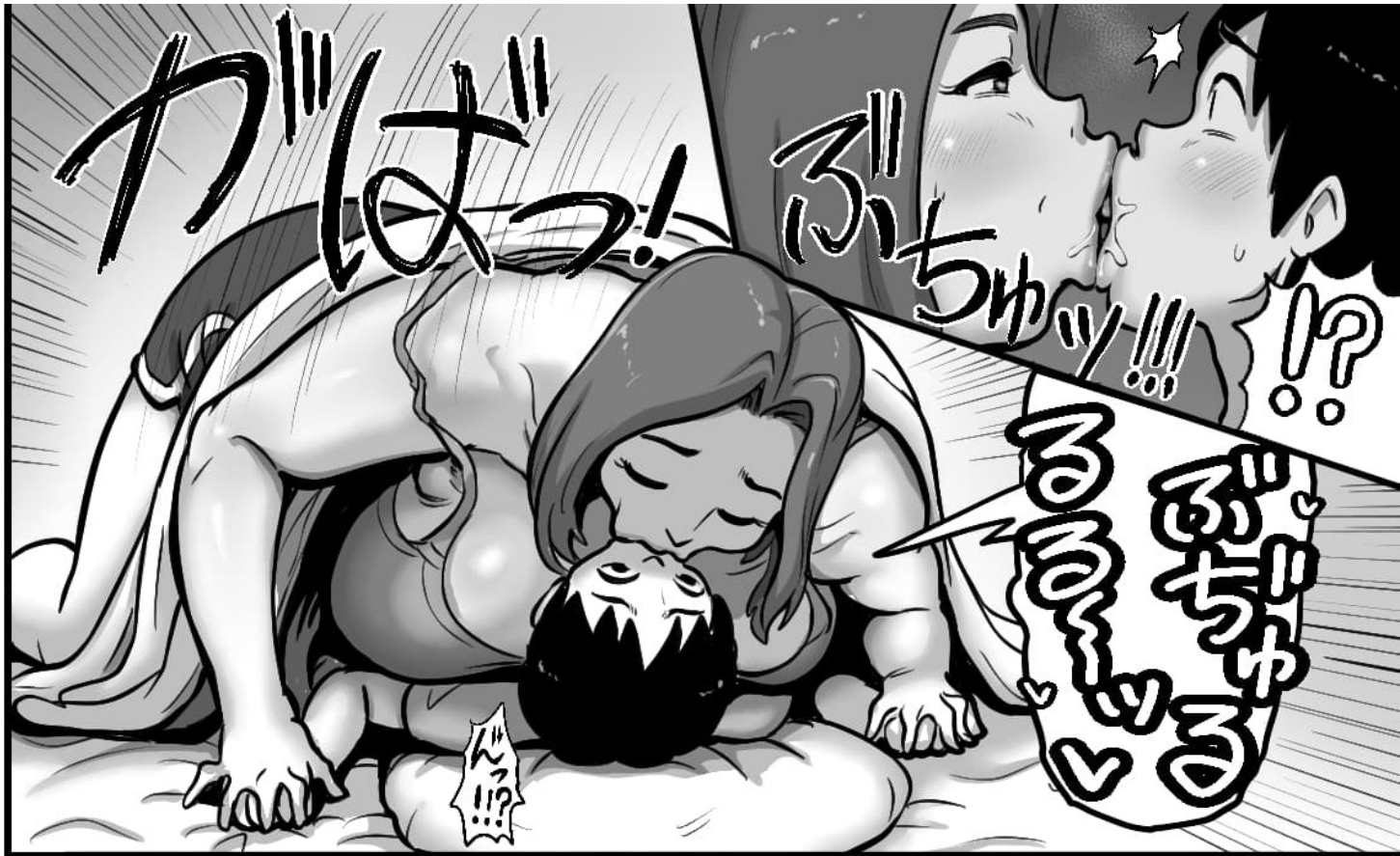












そこからは
もう……
よく覚えて
いない――



ただ
目の前にある
熟したメスの
暴力的な肉体に――

しがみつきの……
しゃぶりつき……
性器を擦り
つけていた――

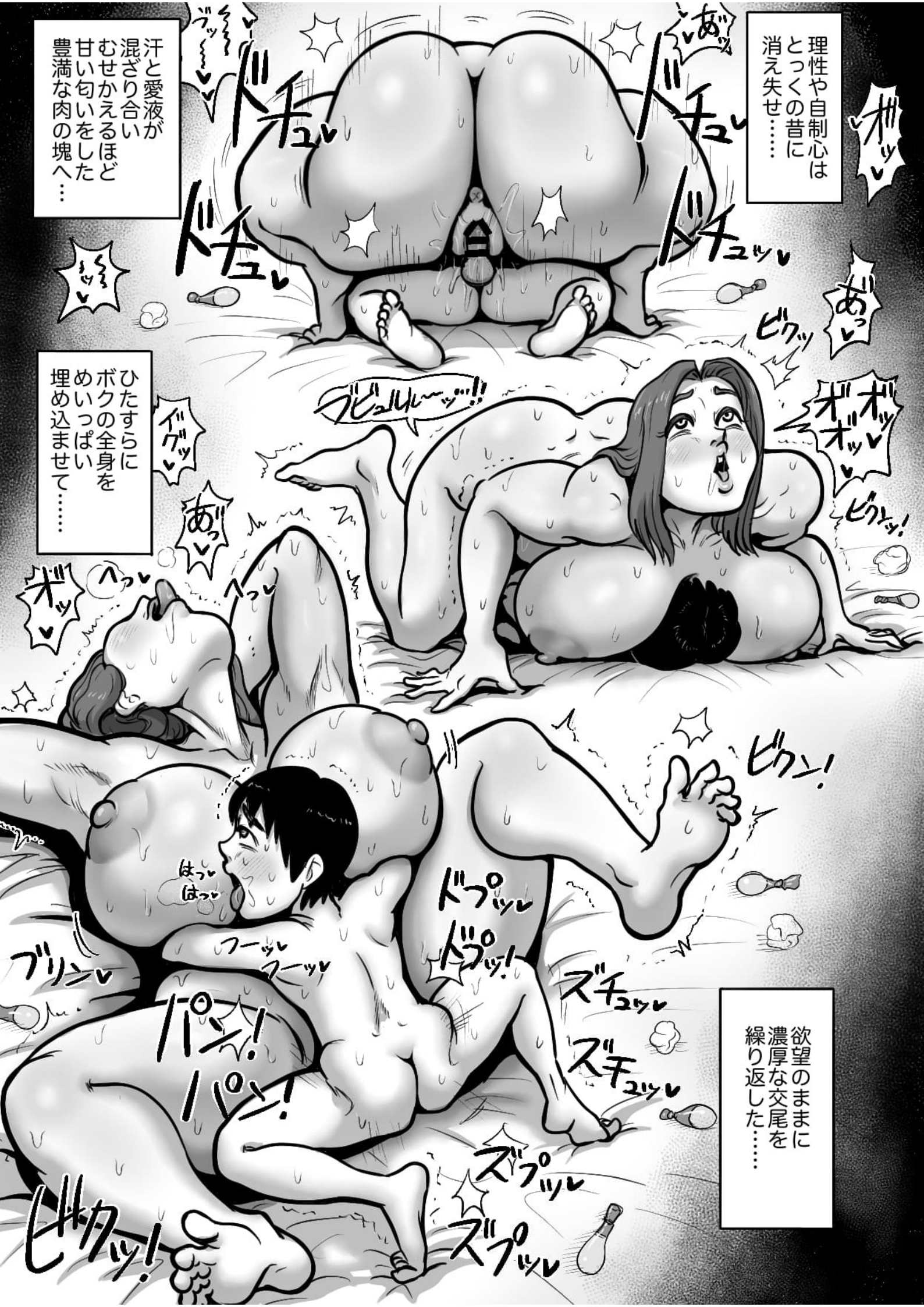


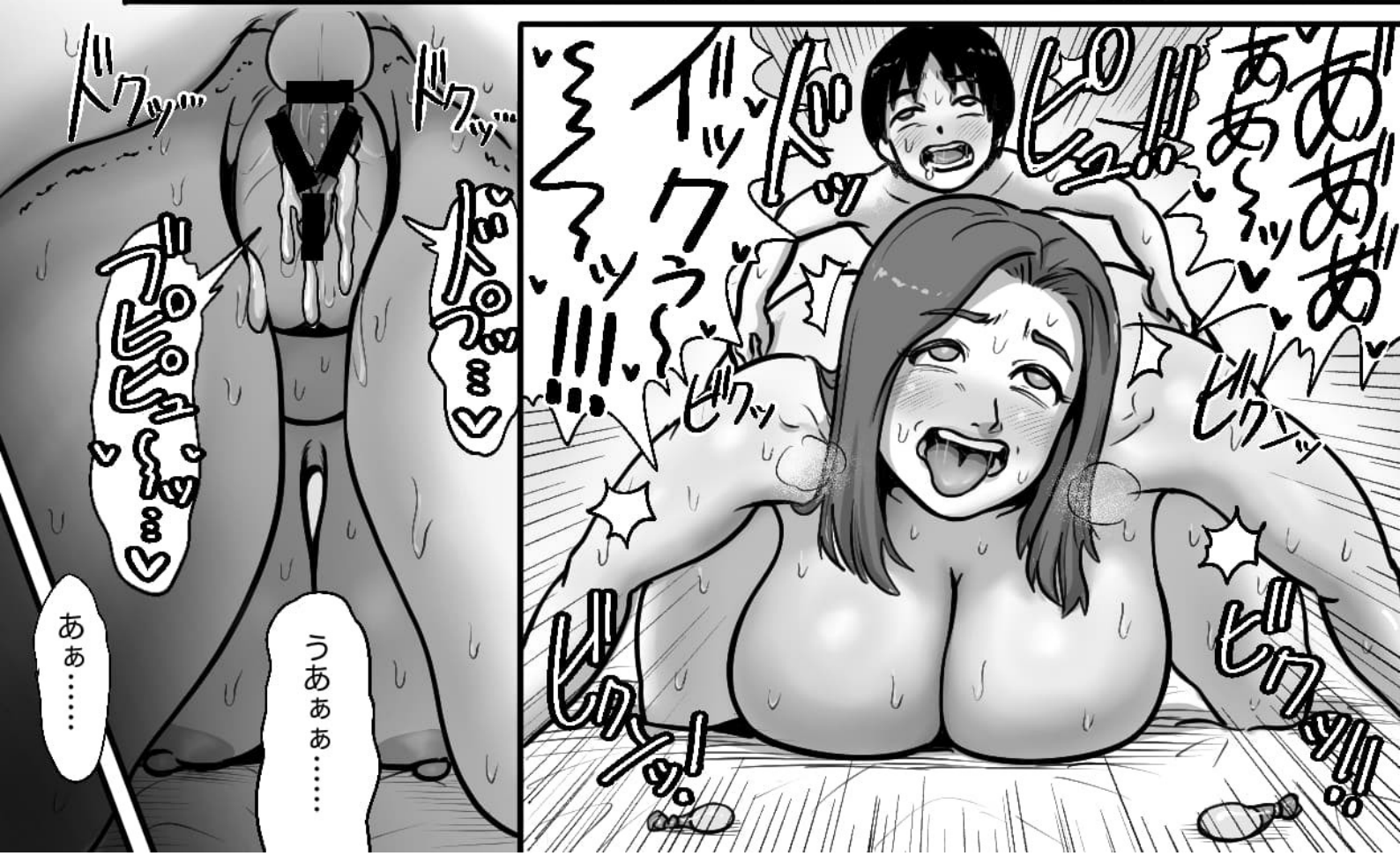
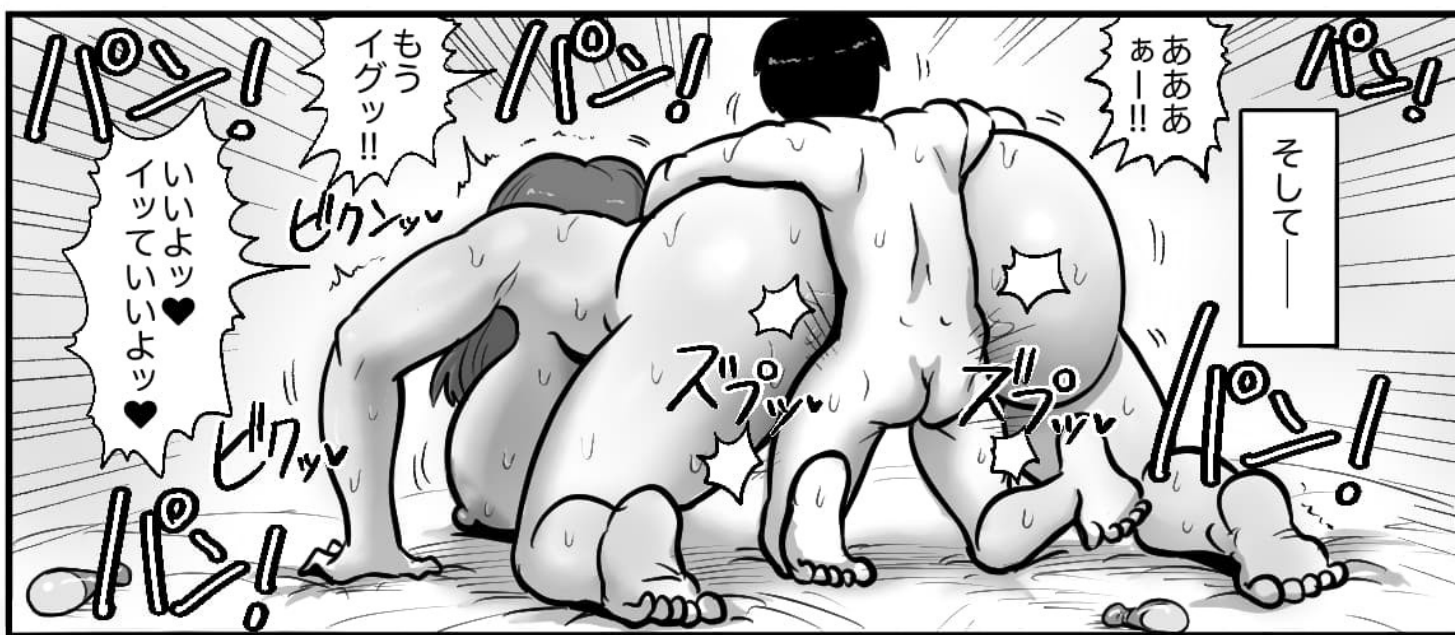
理性や自制心は
とっくの昔に
消え失せ……

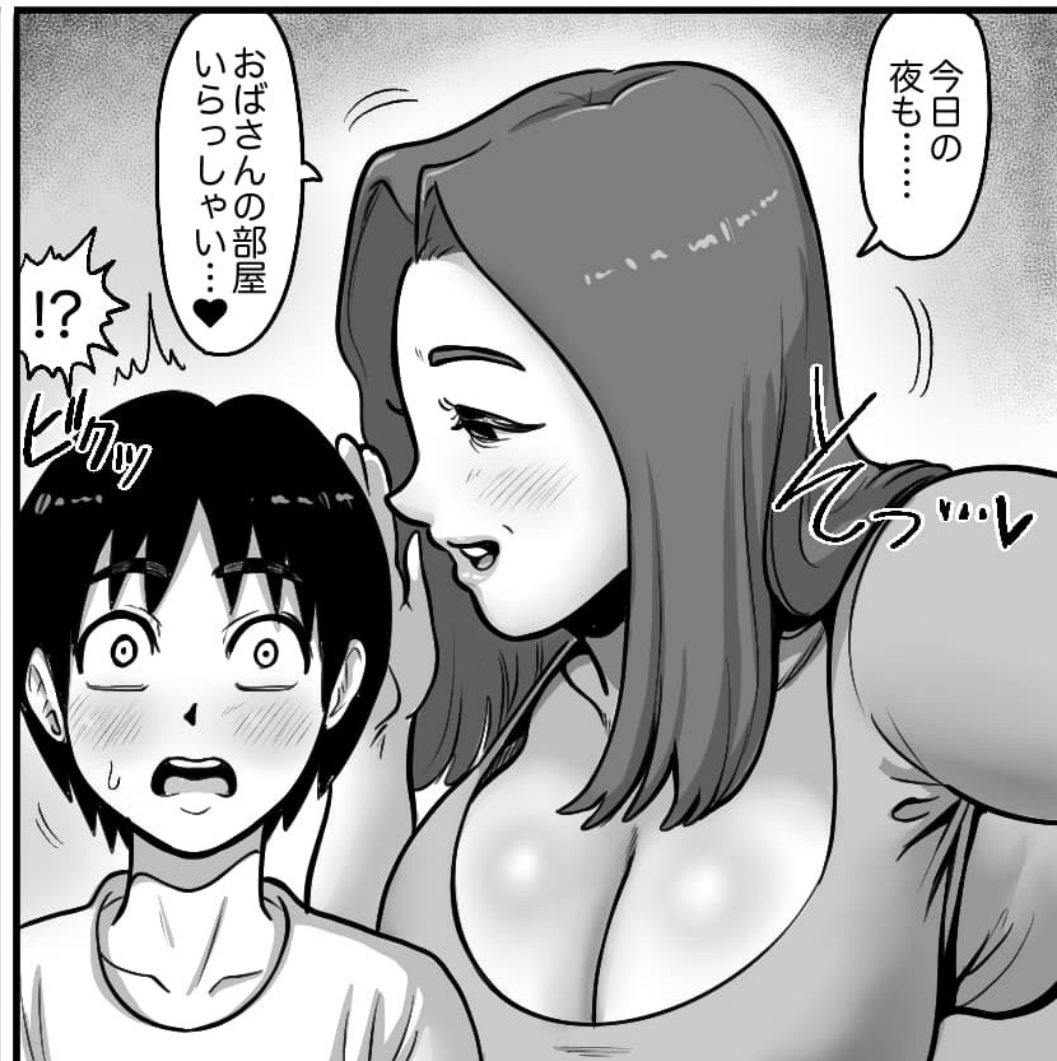
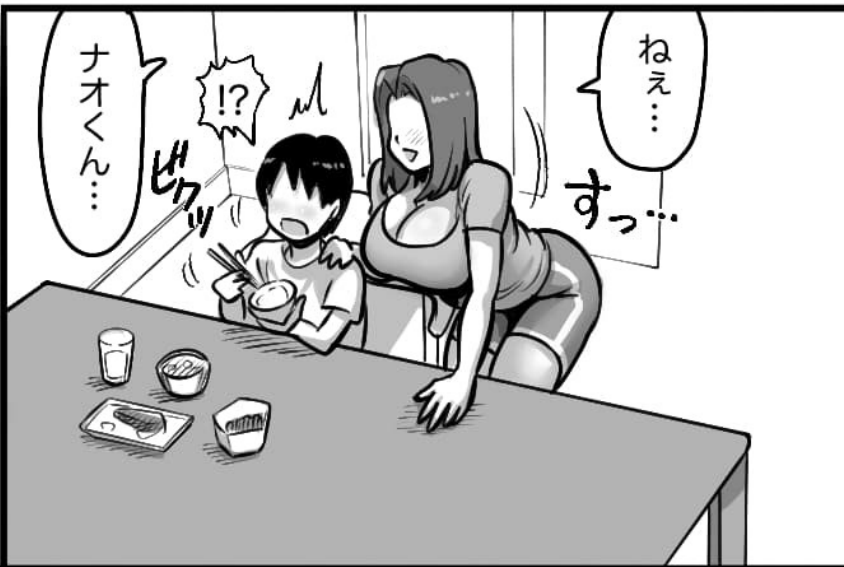
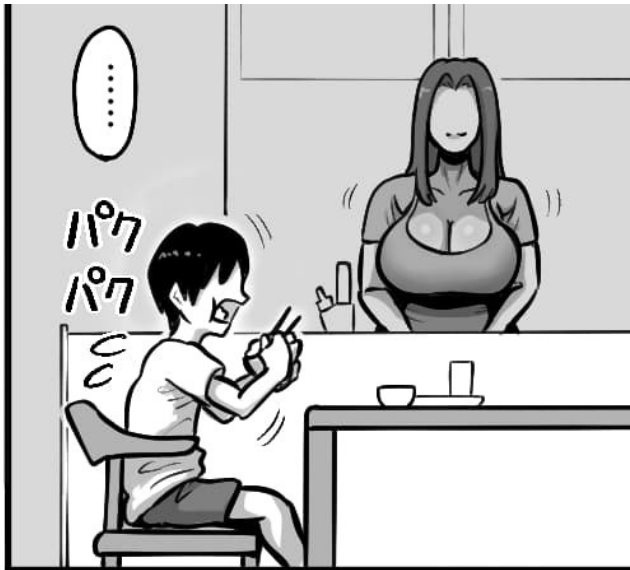
汗と愛液が
混ざり合い
むせかえるほど
甘い匂いをした
豊満な肉の塊へ……

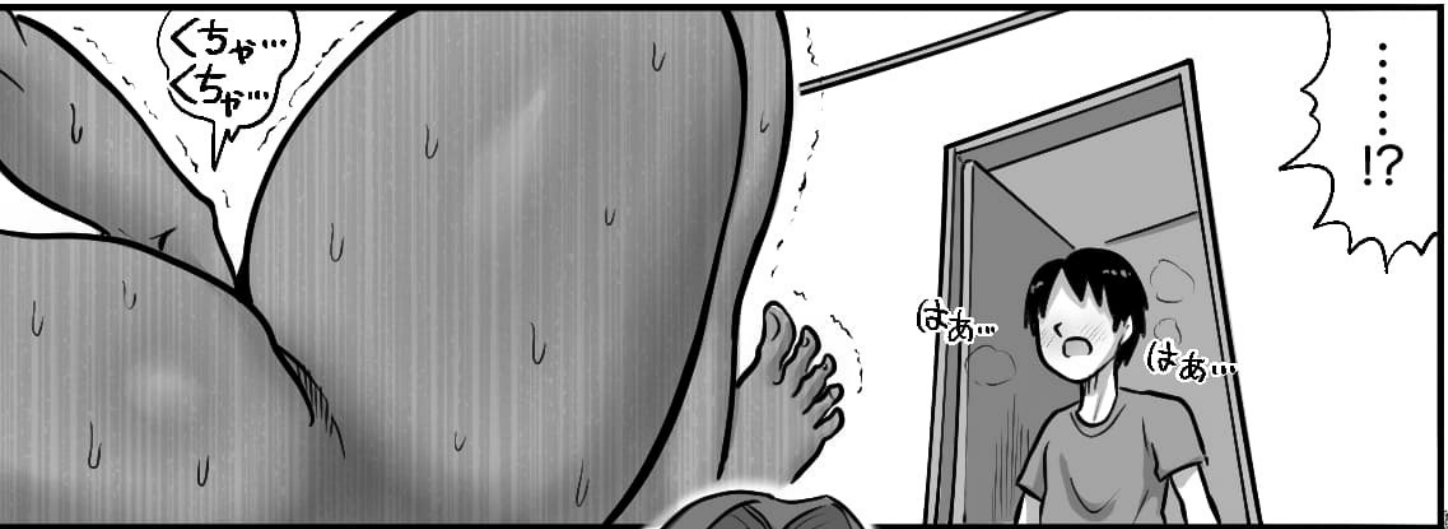
ひたすらに
ボクの全身を
めいっぱい
埋め込ませて……

欲望のままに
濃厚な交尾を
繰り返した……





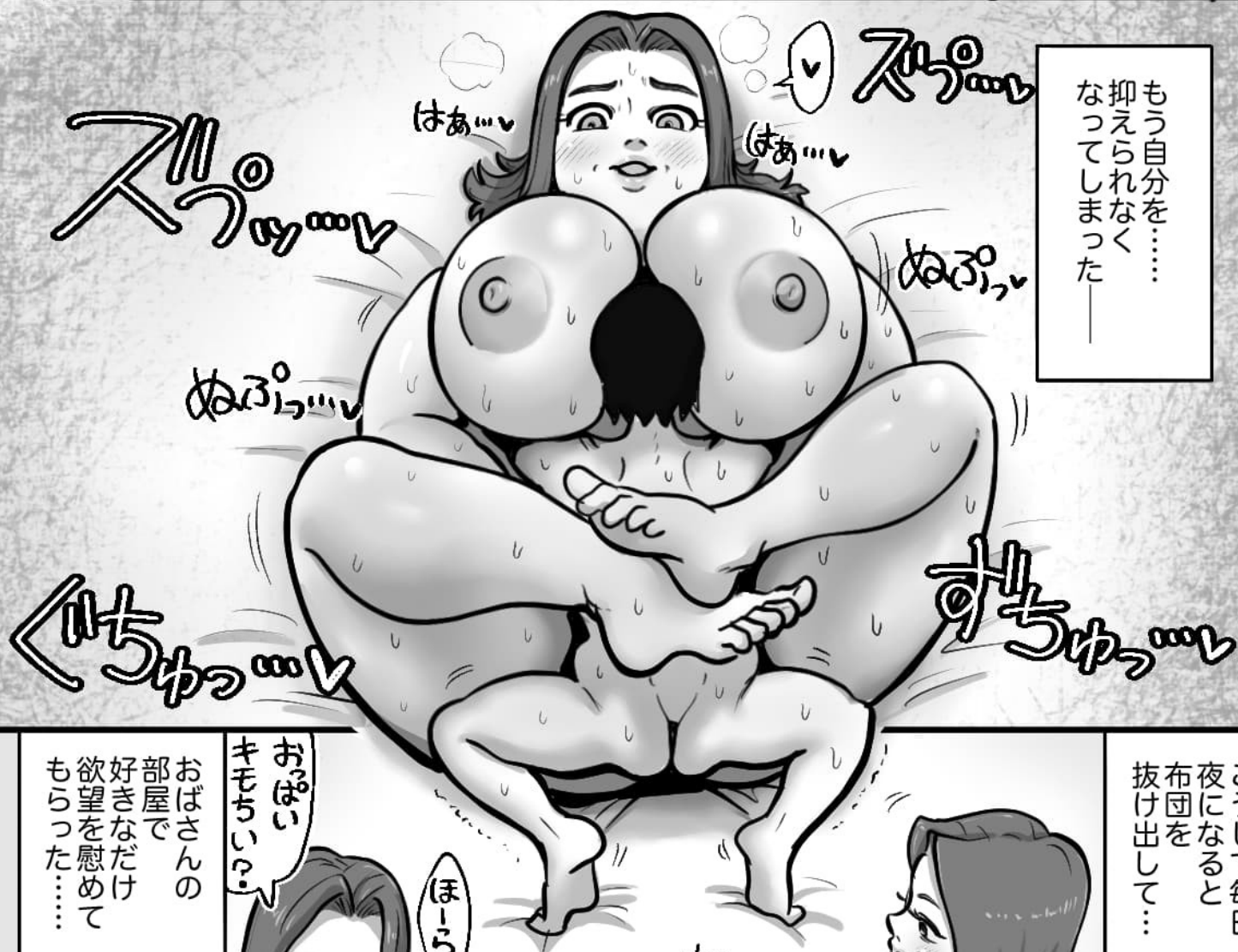




一度
女の力
持ちよ
さを
知って
まった
ボクは



もう自分を...
抑えられなく
なってしまった



こうして毎日
夜になると
布団を
抜け出して...

おはよう
キモチい...
お婆さんの
部屋で
好きなだけ
欲望を慰めて
もらった...

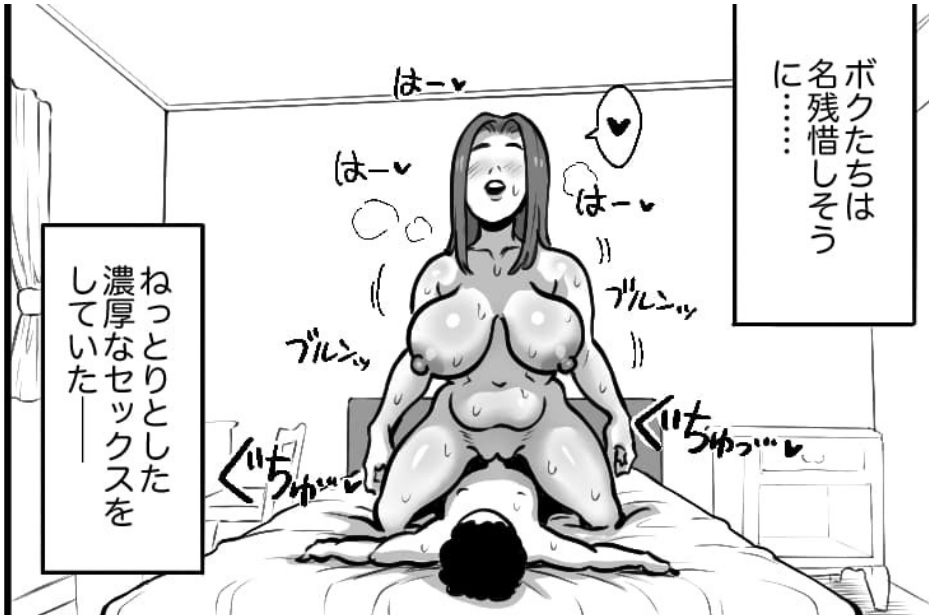


こうして
ボクとおばさんの
禁断の日々が続き……

おばあちゃん家
最終日の前夜――

ボクたちは
名残惜しそう
に……

ねっとりとした
濃厚なセックスを
していた――





あゝ……
朝早く起きて
散歩行つた
みたいよ

なんだよ
今日
帰るのに！



ナオくん
居ないん
だけど？

ひょこっ…



あれ……？
ママ……？



にがっ…

……



はい



ダッ…！

ちよつと外に
探しに行つて
くる！



また
来年も…
いっぱい
しようね…♡

いちゃ
いちゃ

うんっ…♡

ちゅ

ぶちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

むにゅ

時間っ…♡
ギリギリまでっ…♡
チューしよっ…！

れろ
れろ
ちゅ

じゅぽ
ちゅ
ちゅ

おわり♡



…んっ…

はんっ…

ちゅはっ…

ちゅっ…

んあっ…

